



2022年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年2月10日

上場会社名 メディキット株式会社
 コード番号 7749 URL <http://www.medikit.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 景山 洋二
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長管理部門担当 (氏名) 中島 崇
 四半期報告書提出予定日 2022年2月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-3839-8870

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	15,534	4.5	3,488	13.1	3,546	11.9	2,161	17.0
2021年3月期第3四半期	14,870	4.0	3,083	14.9	3,169	13.4	1,848	11.4

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 2,170百万円 (20.0%) 2021年3月期第3四半期 1,809百万円 (15.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	128.65	
2021年3月期第3四半期	109.19	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	50,123	44,960	89.7
2021年3月期	49,920	43,636	87.4

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 44,960百万円 2021年3月期 43,636百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		0.00		50.00	50.00
2022年3月期		0.00			
2022年3月期(予想)				50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,252	4.9	4,150	9.8	4,224	9.1	2,778	4.5	165.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、上記の連結業績予想は、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	18,880,000 株	2021年3月期	18,880,000 株
期末自己株式数	2022年3月期3Q	2,077,020 株	2021年3月期	2,074,720 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	16,805,050 株	2021年3月期3Q	16,925,280 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の拡大と沈静化が断続的に続き、また円安・原油価格の高騰による原材料高に伴う業績への悪影響が懸念される状況にあります。新型コロナウイルス感染症（COVID-19）につきましては、ワクチン接種が進行しているものの、新たな変異株の流行等未だ予断を許さない状況で推移しております。9月末で緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置が全て解除され、行動制限要請の段階的な解除による持ち直しの動きが期待されるものの、11月後半には新たな変異株が確認され、急速に感染再拡大する等依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの属する医療関連業界におきましては、第2四半期累計では前年同期の反動から全体的には回復基調で推移し、第3四半期は感染拡大の沈静化を受け手術件数や検査件数が回復傾向にあるものの、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響が続いております。

このような中で当社グループは、12月に中期経営計画“NEXT300”を策定し、これまで着実な成長を遂げてまいりましたが、次なるステップとして売上高300億円を目標とし、より良い製品を医療現場に提供することを通じ、着実なビジネスの拡大に取り組んでまいりますことを公表いたしました。

販売面におきましては、4月に静脈留置針類においてパッシブ型針刺し防止機構付き留置針「スーパーキャス7」を、また7月に人工透析類において針刺し防止機構付き止血弁内蔵透析用留置針「ハッピーキャスPro Flex」を上市するなど、販促活動に努めてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高15,534百万円（前年同四半期比4.5%増）、営業利益3,488百万円（同13.1%増）、経常利益3,546百万円（同11.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,161百万円（同17.0%増）となりました。

当社の商品区分である品目別の売上高は以下のとおりであります。

人工透析類におきましては、5,639百万円（前年同四半期比1.2%増）となりました。静脈留置針類におきましては、4,073百万円（同3.0%増）となりました。インターベンション類におきましては、5,811百万円（同8.9%増）となりました。

なお、当社グループは、医療機器の製造・販売事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は以下のとおりであります。

総資産は、前連結会計年度末比（以下前期末比という）202百万円増（0.4%増）の50,123百万円となりました。

流動資産は同175百万円増（0.5%増）の37,800百万円、固定資産は同27百万円増（0.2%増）の12,322百万円となりました。

流動資産増加の主な要因は、受取手形及び売掛金の増加835百万円と、現金及び預金の減少が558百万円等によるものです。

固定資産のうち有形固定資産は、同543百万円増（5.4%増）の10,596百万円となりました。

無形固定資産は、同92百万円減（37.6%減）の153百万円となりました。

投資その他の資産は、同423百万円減（21.2%減）の1,573百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前期末比1,120百万円減（17.8%減）の5,163百万円となりました。

流動負債は同70百万円増（1.7%増）の4,224百万円、固定負債は同1,190百万円減（55.9%減）の938百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前期末比1,323百万円増（3.0%増）の44,960百万円となりました。この主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上と配当金の支払いにより、差引き利益剰余金が1,321百万円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は89.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の拡大は、ワクチン接種の進展や経口治療薬の普及によって経済活動の再開は徐々に進んでいくことが期待されますが、新変異株の感染再拡大による懸念が払拭されず、先行き不透明な状況が続くと予想されます。

当社グループにおきましては、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染状況を注視し、医療現場での感染リスク低減に対するニーズは依然強く、人工透析類並びに静脈留置針類において針刺し防止機構付き留置針の拡販と普及を図ってまいります。また、インターベンション類におきましては、引き続き石灰化病変治療デバイスの普及に努める一方、新製品の開発・上市にも取り組んでまいります。このため、2021年5月14日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

通期の連結業績予想につきましては、売上高20,252百万円（前年同期比4.9%増）、営業利益4,150百万円（同9.8%増）、経常利益4,224百万円（同9.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益2,778百万円（同4.5%増）を計画しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,491,119	26,933,099
受取手形及び売掛金	4,874,179	5,709,952
金銭の信託	1,500,000	1,500,000
商品及び製品	1,449,580	1,266,036
仕掛品	1,488,047	1,383,829
原材料及び貯蔵品	761,899	730,831
その他	60,325	277,176
貸倒引当金	△488	△571
流動資産合計	37,624,663	37,800,354
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,004,144	2,942,749
機械装置及び運搬具(純額)	2,817,415	2,483,804
工具、器具及び備品(純額)	1,500,033	1,498,758
土地	2,458,091	2,419,359
建設仮勘定	272,968	1,251,530
有形固定資産合計	10,052,654	10,596,202
無形固定資産	246,190	153,538
投資その他の資産		
投資有価証券	982,917	926,356
保険積立金	64,900	64,901
繰延税金資産	816,156	437,246
その他	133,756	145,491
貸倒引当金	△750	△750
投資その他の資産合計	1,996,981	1,573,245
固定資産合計	12,295,826	12,322,987
資産合計	49,920,489	50,123,341

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,276,622	2,652,499
未払法人税等	451,218	412,924
賞与引当金	410,792	201,348
その他	1,015,919	957,999
流動負債合計	4,154,552	4,224,771
固定負債		
退職給付に係る負債	140,512	140,087
資産除去債務	29,069	31,895
その他	1,959,723	766,427
固定負債合計	2,129,304	938,411
負債合計	6,283,856	5,163,183
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,241,250	1,241,250
資本剰余金	10,378,585	10,378,585
利益剰余金	35,012,669	36,334,347
自己株式	△3,190,675	△3,197,069
株主資本合計	43,441,829	44,757,113
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	106,621	108,061
為替換算調整勘定	△51,931	59,956
退職給付に係る調整累計額	140,112	35,028
その他の包括利益累計額合計	194,802	203,045
純資産合計	43,636,632	44,960,158
負債純資産合計	49,920,489	50,123,341

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	14,870,612	15,534,928
売上原価	8,924,927	9,206,563
売上総利益	5,945,684	6,328,365
販売費及び一般管理費	2,862,272	2,840,331
営業利益	3,083,412	3,488,033
営業外収益		
受取利息	2,679	1,953
投資事業組合運用益	—	833
受取配当金	16,447	15,485
受取地代家賃	31,789	33,411
売電収入	20,168	17,336
その他	36,166	36,580
営業外収益合計	107,252	105,600
営業外費用		
支払利息	5,392	5,508
投資事業組合運用損	1,545	—
為替差損	—	28,379
減価償却費	3,565	3,113
売電費用	9,324	8,489
その他	1,724	1,826
営業外費用合計	21,553	47,317
経常利益	3,169,111	3,546,317
特別利益		
投資有価証券売却益	58,500	—
会員権売却益	—	118
特別利益合計	58,500	118
特別損失		
投資有価証券評価損	—	31,708
減損損失	—	55
固定資産売却損	—	21,373
固定資産除却損	1,454	5,480
特別損失合計	1,454	58,618
税金等調整前四半期純利益	3,226,157	3,487,817
法人税、住民税及び事業税	1,202,203	893,178
法人税等調整額	175,842	432,697
法人税等合計	1,378,045	1,325,876
四半期純利益	1,848,111	2,161,941
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,848,111	2,161,941

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	1,848,111	2,161,941
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△37,447	1,439
為替換算調整勘定	△31,362	111,887
退職給付に係る調整額	29,840	△105,084
その他の包括利益合計	△38,969	8,242
四半期包括利益	1,809,142	2,170,183
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,809,142	2,170,183
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。これにより、商品及び製品の販売における一部の取引高リベート及び目標達成リベートについて、従来は、金額確定時に販売費及び一般管理費として処理する方法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より、変動対価に関する不確実性がその後解消される際に、認識した収益の累計額の著しい減額が発生しない可能性が高い範囲でのみ、取引価格に反映する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、利益剰余金の当期首残高に与える影響はありません。また、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年12月31日)

当社グループは、医療機器の製造・販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。